

JSPA 指導者検定会・ベーシック課程：2026年2月・神奈川県横須賀会場
報告書1：開催データ

報告者： 武田 祥吾

報告日： 2026年2月 22日

■主管	コアアウトフィッターズ
-----	-------------

■実施課目	実施日	実施会場名：住所
知識課目	2026年 2月 18日	コアアウトフィッターズ
技術課目	2026年 2月 19日	久留和海岸
	実施種目：シットオントップカヤック	

■担当者	氏名	資格	担当課目
チーフ検定員	武田祥吾	SOT-B 検	知識科目、技術課目
第2検定員			
デモ担当者	武田祥吾	SOT-AI	—
補助者			—

■受験者	数	特記事項
知識課目	1人	
技術課目	1人	
要認定者	1人	

■研修参加情報	氏名	資格	研修内容
研修参加者			

■開催にあたっての特記事項	特になし
---------------	------

【技術課目】

<p>■天候等自然条件を含めた実施状況</p>	<p>2/19(木)快晴、北東2~4m/s、波0,4m 実施場所は防波堤に囲われた湾内。</p>
-------------------------	--

<p>漕艇技術実施に関する特記事項</p>	<p>ブローで強めに吹いていたため、フォワード、バックワードともに風上に向かって漕いでいただきました。回転性の高い艇だったため、スピンは左右2回転ずつ行っていただきました。</p>
-----------------------	--

<p>指導技術実施に関する特記事項</p>	<p>3つの課題からくじを引いてもらい、書かれた内容の課題を実施(乗艇下艇)。</p>
-----------------------	---

安全技術課題	実施内容
<p>1) 検定種目(艇種)の特性に関して</p>	<p>ドレンプラグの締め忘れや破損が招く事故について。 回転性と直進性 艇の形状、重心位置によるウェザーコッキングの違いについて。</p>
<p>2) レスキュー</p>	<p>セルフレスキュー(再乗艇)、アシストレスキューともに問題なし。 相手方に近づく前に声掛けや、シチュエーションによってレスキュー方法は原則に基づき柔軟に、などをお伝えした。 トーイングロープによる牽引も行う。 ロープの危険性もお伝え。</p>
<p>3) 活動フィールドの考察</p>	<p>受験者は西伊豆田子の湾内にショップがあり、湾内と防波堤外の外洋フィールドではリスクに大きなギャップがある。ここは総論やパド基礎知識の学科でも時間を取って説明していたが、あらためてこの時間でも話題に出した。 すでにここで10年活動し、本人にとっては十分承知の内容だったかとは思いますが、真摯に耳を傾けていただき、協会としての考えを理解していただけたと思います。</p>
<p>安全技術実施に関する特記事項</p>	<p>ほか特になし。</p>